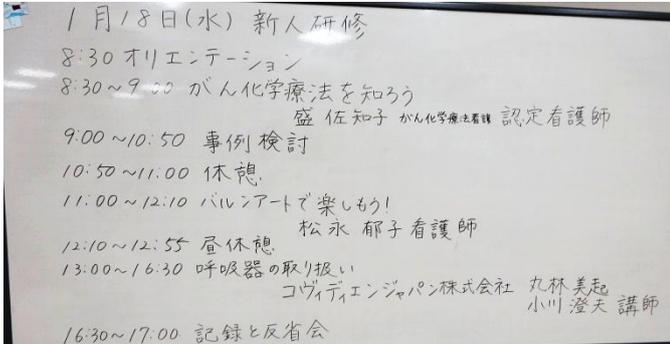


新人研修

◇ 平成 29 年 1 月 18 日 (水)

がん化学療法看護、事例検討、呼吸器の取り扱いなどのテーマで研修が行われました。看取りの看護では、がん化学療法看護認定看護師より抗がん剤の注意点や、安全な癌化学療法についての講義を受けました。また、事例検討では臨床における一事例を通して自己の看護を振り返り、全員で共有しフィードバックを行いました。またリフレッシュタイムでは童心にかえりバルンアートで楽しみました。



事例検討

A氏 74歳 男性
 診断名: 頸椎後縦靭帯骨化症
 性格: 寡黙な方で厳格な性格
 場面
 術後1日目より起き上がろうとするなど、興奮状態がみられ、安静指示が通じないことがあった。
 術後3日目より天井に虫が見えるなどの術後せん妄あり。家族も初めて見る状態に驚き不安を感じていた。

実際にとった対応
 A氏には
 話を傾聴し、幻覚であることを伝えた。
 家族には
 術後幻覚が見えたり、興奮状態に陥ることもあるが、一時的なものであるため心配はいらないことを伝えた。A氏が危険な行動をしていらずにすぐにはナースコールを押してもらおうと説明した。

患者への対応

- ・幻覚について否定はせず、興奮を助長させようとはしないと言わない。
- ・身体症状などを聞いて、話題を変えている。

家族への対応

- ・現在の状態について説明する。
- ・その後の見方について説明する(看護士が観察できる範囲内)
- ・患者さんへの対応の仕方について説明する。
- ・不安を感じた場合の対応方法を伝える。

さらに...

- カルテに 患者の状態
- 自分がとった行動
- 家族に説明したこと
- 家族の反応 を記録する

患者プロフィール
 52歳、男性、無職、生活保護
 ● 現病歴 ●
 右7月発症性骨髄炎、右7月発症性骨髄炎、右7月発症性骨髄炎
 ● 既往歴 ●
 高血圧、2型糖尿病、高脂血症、高尿酸血症
 小児科 発熱、体目的、衝動的な行動をする事あり、発熱を繰り返している、病歴が不明である
 下-マの対応
 対応を行ったため発熱が治り、発熱が治ったため対応がなくなった。

困ったこと
 ● 担当を拒否された
 ● 患者さんが怒っている時
 ● 質問をたくさんされた時
 スタッフ間同士の
 ● 忙しいという報告がいつも多い
 ● 思い込みで行動し、間違える

対応
 ● 患者さんの性格や生活背景を理解した上で関わる
 ● 相手の感情を受けとめる
 ● 先輩に相談する
 ● 患者さんの立場に共感する
 ● 後継が経験する時間ともらう
 ● 4日チェックと確認を行う

① 急変時、重症患者
 ・重症患者を担当した時、どこを観察すればいいかわからない。
 → 疾患の知識を深める・事前に先輩にアドバイスを聞く。
 ・DNRがとれている人の急変(身内がいない人)
 → DLにサインを要請が必要の確認。
 Na 2名でDL介助し、1名は他患の観察(点滴など)を
 ・DNRの患者を担当する時
 → 家族の連絡先確認・DLの連絡先確認。
 DNRの内容(DL、拒否理由)確認
 ☆ 急変の始めに先輩と一緒に患者の状態を一度見ておく

② 看護行為の関わり
 ・呼吸器の悪い人に吸引の場合は吸引形を注意が厳格にしていることが必要。
 ・吸引という行為に無中は、その瞬間のCPAPに気づかずに吸引し、患者が窒息するから処置を早く行う。

③ 仕事
 ・勤務交代の時、申し送りを受けたい人と一緒に状態を確認
 ・日勤と担当が交代する見えない(1日休む人)
 ・セミナーの取組を認識しておく
 ・重症の患者の部屋は定期的に巡回する。
 ・検査カードの中を把握しておく
 ・手帳の整理、物品をシミュレーションしておく

④ 時間配分
 ・検査や入院 流れを把握しておくこと
 ・どの程度かかるとも把握しておくこと
 ・聞くタイミングを待たずに遠くまでいってしまう
 ・フリーの人ほどに聞く

まとめ
 ・急変は誰にでも起こりうるという心構え
 ・日頃の患者の把握と知識・技術習得
 ・報告・連絡・相談

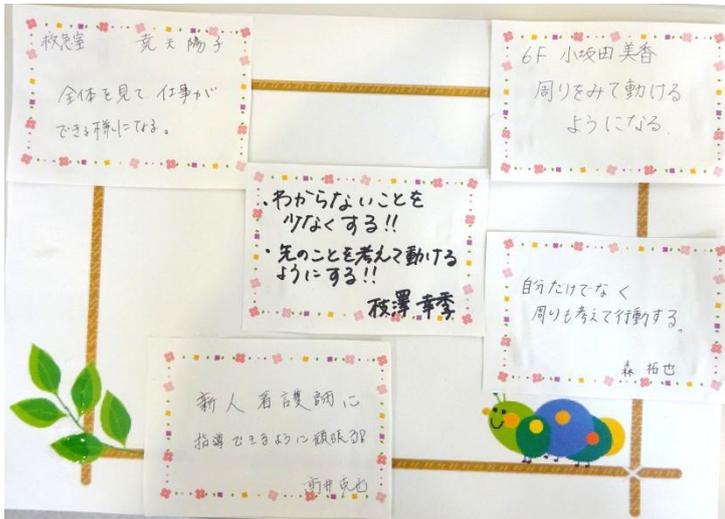


◇ 平成 29 年 2 月 20 日 (月)

「12ヶ月フォローアップ」、「すぐに役立つモニター心電図」研修が行われました。

一年間の振り返りを行い、共有し次年度に向けての課題が見えてきました。3分間スピーチは緊張しましたが思いを伝えることができました。





今後の目標

フォローアップ研修で【入職時の思い】【悲しかったこと・いまくいかなかったこと】【うれしかったこと】【成長したこと】を話し合い、今後の目標を皆で発表しました。

- ✚ 積極的に!! 処置やわからないことはないように頑張る
- ✚ 患者さんに思いやりを持って接する
- ✚ 全体をみて仕事ができるようになる
- ✚ わからないことを少なくする
- ✚ 先のことを考えて動けるようにする
- ✚ 新人看護師に指導できるように頑張る
- ✚ アセスメント能力を磨いていく
- ✚ 気を引き締めてがんばる
- ✚ 業務をこなすことに精一杯にならないようにする。初心を忘れず丁寧なケアをする
- ✚ 毎日笑顔で働く
- ✚ いろいろな処置につけるようにする…

いろいろ悩んだ1年だったと思います。研修お疲れ様でした。

患者さんやご家族に寄り添い、あなたで良かったといわれるような看護師に育っていただきたいと思います。



みんないい笑顔です。お疲れ様でした。

「新人看護師と一緒に成長できました」

新人指導者たち

